

薬学部薬学科 アセスメント・チェックリスト

薬学部薬学科の学位授与水準(DP)

DP1:【豊かな教養と高い倫理観】国民の健康・福祉及び医療に関する専門的知識のみならず、広く自然や社会に関心を持つことで豊かな教養を備えるとともに、患者本位の視点から医療人として果たすべき使命と役割の理解につながる総合的判断力と高い倫理観を備えている。
DP2:【専門的な知識・技術・技能】薬学の基礎となる物理化学、有機化学、生物化学を系統的に習得し、さらに専門性の高い創薬科学、生命科学、医療薬学を発展的に学ぶことで、指導的な立場で活躍できる薬剤師、臨床研究者、教育者として必要な知識・理論・技能を身につけている。
DP3:【世界水準の研究】国民の健康・福祉及び医療における諸問題を薬学の立場から研究しその成果を医療の現場に還元するため、情報収集力、研究企画・遂行力、論理的思考力、プレゼンテーション力を修得し、世界水準の独創的・先端的な研究を遂行することができる。
DP4:【高い問題解決能力と行動力】医療・薬学に関する問題のみならず、自然、社会的現象、科学的事象に関する問題点を的確に発見できる能力を持ち、自ら実証的かつ多面的な視点から論理的にその本質を分析し、立案した解決策を実行できる。医療・薬学領域において、指導的な立場で活躍する薬剤師、臨床研究者、教育者となるため、自ら様々な事象・事実を確認・分析し、問題を解決するための対策を提案し実行できる。
DP5:【国際的な視点と自己実現】薬学の社会的、文化的位置づけを理解し、薬学を学ぶものとして自己の目標を設定し、自己を評価検証できる。医療・薬学領域のみならず、社会生活に求められるコミュニケーション能力、グローバル化に対応した国際感覚や言語力を有し、独創的・先端的な研究を国際的に発信することができる。

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容、質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	授業アンケート	7月、1月	毎年	2～6年生	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・学習状況	質問紙	学生	集計結果を教員に開示して今後の教育方法改善の参考とする	薬学部
2	成績評価	4月、9月	毎年	2～6年生	・成績の点検	履修指導時に点検する	薬学部学生指導関係教員	成績をもとに履修指導を行う。	薬学部
3	DP達成判定	卒業判定時	毎年	6年生	・各卒業予定学生のDP達成の有無	薬学部教授会にて各指導教員より判定を行う	薬学部学生指導関係教員	判定結果を教員が共有して今後の教育方法改善の参考とする。	薬学部
4	企業調査 (就職先調査)	1～3月	3年に1回	卒業生の就職先	・企業等からのアドバイス	質問紙	企業等の職員	評価結果を教職員に開示してカリキュラム改善の参考とする。	総合IR室、薬学部
5	DPIによるカリキュラム点検	随時	6年に1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング、カリキュラムマップなどによるDPとカリキュラムの相互参照	薬学部学生指導関係教員	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合はいずれかを調節する。	薬学部

※ 大学IRコンソーシアムによる共通アンケートとして実施するもの。

(大学IRコンソーシアム：平成21年度文部科学省「大学教育充実のための戦略的連携支援プログラム」(GP)に採択された「相互評価に基づく学士課程教育質保証システムの創出—国公立4大学IRネットワーク」を、発展的に継承するために設立された組織。<http://www.irnw.jp/index.html>)